

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和3年度 第5回麻溝地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		麻溝まちづくりセンター 電話042-778-2381(直通)		
開催日時		令和4年1月28日(金) 午後7時00分~午後8時10分		
開催場所		麻溝公民館 大会議室		
出席者	委員	18人(別紙のとおり)		
	その他	4人(環境経済局資源循環部清掃施設課4人)		
	事務局	3人(麻溝まちづくりセンター所長ほか2人)		
公開の可否		可	不可	一部不可
傍聴者数		0人		
公開不可・一部不可の場合、その理由				
会議次第		<p>議題</p> <p>(1) 一般廃棄物最終処分場の嵩上(延命化)整備について</p> <p>(2) 幹線快速バスシステム導入推進事業について</p> <p>(3) 麻溝地区防災計画検討委員会について</p>		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

(は会長の発言、 は委員の発言、 は清掃施設課の発言、 は事務局の発言)

1 開会

中島麻溝地区まちづくり会議会長のあいさつにより開会した。

2 議題

(1) 一般廃棄物最終処分場の嵩上 (延命化) 整備について

資料に基づき、清掃施設課より説明を行った。

峯山霊園に隣接する第2期整備地は、平成20年から工場から出る焼却残渣等を埋立してきた。当初、地表から20メートル掘り下げた箇所から埋立てしていたが、13年が経過し地表面近くまで到達したため、今後は安全性を確保した上で、上方向に嵩上げ工事を実施する。令和4年度以降から嵩上げのための準備工事を実施し、その後に嵩上げ工事を予定している。

なお、当初の計画では令和13年度に埋立て終了となっていたが、市民の皆様によるごみの減量化・分別の取組みや週2回収集への移行などにより埋立量が減少し、令和19年度途中まで埋立てが行える見込みとなっている。

(主な意見・質疑等)

先日の自治会長会議の資料では、埋立物の中に「汚泥」の記載があった。今回の資料で汚泥の記載が消えているのはなぜか。汚泥の分解によるメタンガスの発生が心配である。

前回資料に汚泥の記載があったのは、処分場の届出の記載に倣ったため。実際に汚泥を埋立した実績はないことから、今回の資料から汚泥を削除した。なお、届出に汚泥を含めた理由は、大規模災害等の緊急の際に処分場に埋め立てる可能性のあるものを広く想定して記載していたものである。仮に汚泥を埋め立てた際にはご指摘のとおり、汚泥の分解に伴うメタンガス・アンモニアの排出や地盤沈下等の影響も懸念されるが、今の埋立物はその点問題はない。

第2期整備地の近くには相陽中学校があるが、埋立物の飛散等による健康面での問題はないのか。

埋立物の安全性について説明させていただくと、埋立てしているものは溶融スラグ、不適物、処理灰である。溶融スラグはガラス質の砂で、道路の一部にも使われており、検査も実施し安全性を確認している。不適物は焼却に適さない陶器くずなどであり、元々陶器は土からできているため安全上の問題はない。処理灰については重金属類を含むため、運搬時に薬剤で溶出しないように封じ込めているほか、埋立したら速やかに覆土・散水による飛散対策を行っている。

市清掃施設課が把握している、我々に説明していない事業上の課題は何か。

土の堤防である土堰堤の築造と埋立を繰り返し行うことになるが、設計値の102メートルまで嵩上げ可能と安直に考えることなく、その都度安全性を確認しながら整備を進めていくことが課題と捉えている。

第2期整備地は令和19年度途中まで埋立てが行える見込みとのことだが、その後はどうなるのか。

新たな最終処分場の整備が必要である。現在、次期最終処分場の整備のため、法的制約など様々な点を検討している。また審議会による候補地の選定を進めており、令和4年3月頃に答申が出る予定である。今後は該当となった複数ある候補地の地域の皆様に対し、説明と対話を行っていきたいと考えている。

(2) 幹線快速バスシステム導入推進事業について

市からまちづくり会議あての回答について、資料に基づき説明した。

- ・「相模原市新しい交通システム導入基本計画」については、予定通り事業を進めることが困難であるため、廃止を検討している。
- ・令和4年3月に策定を予定している「次期総合都市交通計画」に、交差点の部分改良、信号の見直し、バス利用促進に関する啓発、バス路線の再編検討などの施策に加え、多車線化整備に合わせたバス優先レーンや急行バスの導入検討などの施策を掲載し、本事業の当初の目的である信頼できる公共交通サービスの実現に向けて、バスの定時性・速達性を図る取組を進める予定である。
- ・施策の実施にあたりましては、地元の皆様との協働が必要不可欠であることから、まちづくり会議や同交通部会などの折りに、今後の進め方などについて対話させていただきたいと考えている。

(主な意見・質疑等)

パブリックコメントで出された「次期総合都市交通計画」では、北里大学と原当麻駅との間のバス路線が一般路線の位置付けとされ、重要視されていないと思われる。「幹線快速バスシステム」を継承し、相模大野駅から原当麻駅間の交通ネットワークを確保するため、より重要な路線に位置付けてほしい。

麻溝台地区の女子美、総合体育館、陸上競技場や公園等の施設と最寄り駅の原当麻駅間のバス路線を整備してほしい。バス路線の整備は、交通弱者対策や渋滞緩和の観点からも重要なことである。

麻溝台周辺の渋滞の緩和や利便性の向上のため、面的な交通ネットワークを考慮し、ニーズを踏まえたバス路線の整備が必要である。

(3) 麻溝地区防災計画検討委員会について

資料に基づき事務局より防災計画検討委員会会則の改正案について説明を行

い、原案のとおり承認された。

- ・現在の「麻溝地区防災計画」は平成27年11月に策定されて以降、令和元年東日本台風による風水害時の避難方法の変更や、コロナ対策などの見直しがないため、修正が必要となっているもの。
- ・今後の修正に係る体制について、高齢者や障害のある方など迅速な避難行動が困難な「要援護者」に対する支援の強化を図るため、「麻溝地区民生委員児童委員協議会会長」を委員に追加する。

3 連絡事項

- (1) 第6回麻溝地区まちづくり会議について
- (2) 社会福祉協議会福祉講座について

4 閉会

春山麻溝地区まちづくり会議副会長のあいさつにより閉会した。

以 上

麻溝地区まちづくり会議 委員名簿

(令和3年11月26日現在：敬称略)

	団体名	委員		まちづくり 会議での 役職	第4回 出欠席
		団体での 役職	氏名		
1	麻溝地区自治会連合会	会長	中島 勝平	会長	出席
2	麻溝地区自治会連合会	副会長	伊藤 信裕		出席
3	麻溝公民館	館長	山口 誠	副会長	欠席
4	麻溝地区社会福祉協議会	会長	境 勉	副会長	出席
5	麻溝地区民生委員児童委員協議会	会長	春山 すみ子	副会長	出席
6	麻溝観光協会	副会長	井上 時雄		出席
7	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	副支部長	座間 正見		出席
8	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	副支部長	加藤 賢次		欠席
9	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	副支部長	箕輪 良市		出席
10	麻溝地区老人クラブ連合会	会長	浅原 寿郎		出席
11	麻溝地区子ども会育成連絡協議会	会長	福田 豊		出席
12	麻溝地区青少年健全育成協議会	会長	井上 國雄		欠席
13	麻溝商工振興会	会長	石原 武		欠席
14	麻溝公民館運営協議会	委員	本多 展克		出席
15	当麻地区まちづくり委員会	会長			
16	相模原市スポーツ推進委員	委員	小泉 勉		欠席
17	相模原市青少年指導委員	代表	山口 隆		出席
18	相模原市農協麻溝支店運営委員会	委員長	政木 晃		出席
19	相模原市消防団南方面隊第1分団	分団長	井上 歩		欠席
20	麻溝小学校PTA	会長	近藤 義紀		欠席
21	夢の丘小学校PTA	会長	小林 大介		出席
22	相陽中学校PTA	会長	岡田 洋子		出席
23	市場地区計画検討委員会	委員	石井 英和		出席
24	学校法人 北里研究所	次長	村川 健一		欠席
25	学校法人 女子美術大学	校友室主幹	友部 徳寿		出席
26	麻溝地域包括支援センター	管理者	細山 賢太郎		出席
27	学校法人光明学園 相模原高等学校	校長	天野 雅秀		欠席
28	県立相模原養護学校	支援連携 グループリーダー	富樫 幸乃		出席